

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表【平成29年度】

法人名	社会福祉法人 高田福祉会	代表者	小菅 貞一	法人・ 事業所 の特徴	ケアホームあいびすはイルクオーレとよぼの2階にあり、1階には歯科クリニック及びリハビリ特化型デイサービス、3階はサービス付き高齢者向け住宅になっている。近隣には大型スーパーや県立病院、クリニック、薬局等があり、利用者が生活しやすい地域環境にある。
事業所名	ケアホームあいびす	管理者	中村 啓一郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	1人	1人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	なし			サービス評価を例年11月～実施していたが、年末年始の忙しい時期と重なるため、来年度は9月～実施に変更する
B. 事業所の しつらえ・環境	1階玄関に作品や飾り等を設置し、目で見て楽しめるようにするが、マンネリ化しないためにも四季または定期的に変更していく	1階玄関はスペースや掲示場所の関係もあり、設えの変更は実施できなかった。 2階玄関や事業所内は四季に応じて定期的に変更した。	玄関には花や鉢植えなどの季節感のあるものが良いと思う。 2Fあいびす入口は四季に合わせて定期的に掲示できている。 あいびすの中は様々な飾り物があり雰囲気も明るい 干支の飾り物が利用者の目に届かないところに掲示してある為、場所を変更してみてはどうか。	現在、飾りについては特に担当が決まっていないため、来年度から3ヶ月毎に3名程度の飾り担当を設ける。
C. 事業所と地域の かかわり	子供～高齢者まで色々な方が参加できるようなイベント(季節感のある和菓子作り、ボランティアの方による催し物の見学、ワークショップ、利用者等による書道教室など)を計画し、公民館への掲示や回覧板により周知していく。	地域の親子を対象にワークショップ(芝坊や作り)を開催した。様々なイベントを開催したが、業務の関係もあり開催日が定まらないため、地域への発信も難しかった。	広報誌がカラフルすぎて少し見にくい為、もう少しシンプルでもよいかと思う。 また、月毎に構成が違う為、統一感がない。	広報誌は職員も作成時に困らないようにベースとなる統一感のある様式を作成し、使用する。 見やすさを優先しながら、介護の情報発信等の内容も盛り込んだ内容にする。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>地域のサロンに職員も参加可能な場合は参加するが、体制上難しい場合はお茶のみだけでも参加し、地域の皆さんと関わる機会を持つ。 利用者一人ひとりの社会資源を把握し、地域での活動を支援していく。</p>	<p>地域のいきいきサロンはあまり参加できず、地域の皆さんとの関りはあまり持てなかった。 利用者個々の社会資源は把握も不十分であり、うまく活用もできていない。 施設としては社会資源をうまく活用できている。</p>	<p>業務もあるので現状で良いのでは？</p>	<p>出勤時間の調整等により、職員もいきいきサロンに参加し、地域の方との交流の機会を増やす。 子安以外の地域のサロンや認知症カフェにも参加できるように調整していく。 社会資源に関する職員研修を実施していく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>地域向けイベント開催時は事前に運営推進会議で提案し、委員の意見を参考に実施していく。</p>	<p>地域を対象とした取り組みを行う際は運営推進会議にて提案している。</p>	<p>運営推進会議にて意見交換できている</p>	<p>今後も事前に提案等行い、意見交換をしていく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>地域の回覧板を施設にも回覧していただけないか町内会長に相談。 また、施設の防災訓練には引き続き地域の方にも参加していただけるよう働きかけていく。</p>	<p>回覧板の回覧は行っていないが、毎月広報誌配布時に町内会長と意見交換等を行っている。 防災訓練は平日の日中に実施しているため、地域の方の参加は難しい。</p>	<p>火災だけでなく水害や地震などもある為、より具体的なマニュアルがあるといいのではないかと。 実際に災害があった時に家族はどう動いたらよいか分からない。 あらかじめ一時避難場所等分かりやすいものがあるとよいのでは。</p>	<p>防災訓練は年2回以上の開催の内1回は土日開催とし、地域の方と協働で行う 災害発生時のフローチャートを作成し家族に配布（あいびすにも掲示）</p>